



2020年3月22日
株式会社立花商店
生田

(新) 週刊カカオニュース 5 & 6 号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

コロナウィルスの影響が益々大きな影響をカカオ、チョコレート業界にも与え始めた1週間となりました。世界中で移動制限などが始まり、海外で仕事をしている日本人の方々も帰国するか留まるかの判断を迫られた大変な時期であったと思います。今は、世界経済と同じで、チョコレート業界も夫々の企業のまずは生存を重視し、そして業界全体が協力し、出来る限りの協力・共存の体制をとる時であろうと感じます。

1、弊社の主要な取引先などの出荷に関する状況(3/22)

コロナウィルスの影響が世界中に広まっており、各国で入国制限、都市封鎖、移動制限など様々な対策が講じられております。

弊社が先週までに把握しているカカオ豆、ココア製品の輸出状況に関する情報を簡単に取りまとめます。

① ガーナ

a) Cocoa Marketing company :

カカオ豆の日本向け輸出は現在行われております。しかしながら、22日の発表で、ガーナの国境封鎖が行われることになりました。国境封鎖は人の往来に限定され、物資の輸出入は一切止まっていないとのこと。

b) Niche Cocoa 及び CHOCO MAC (旧 BD Associates から社名変更) :

現在、製造活動及び輸出ともに行われております。

② その他アフリカ

タンザニア、カメルーン、ウガンダ、シエラレオネ、ギニア共和国からのカカオ豆の輸出状況

上記はカカオ豆の輸出をしておりますが、今のところ、通常の輸出プロセスが進行しております。

③ 南米主要国 (ベネズエラ、エクアドル、ペルー)

輸出禁止ではないものの、主要な都市が移動制限、自宅待機になっていることから、港湾職員の不足、通関業者の不足等などで新規の輸出手続き、また輸出済みの各種輸出関連書類 (BL、原産地証明、植物検疫証明書) 等の取得がほぼ停止状態のようです。輸出は行われているのですが、その処理能力は通常と比べ格段に落ちている現状。

④ マレーシア

a) ガンチョンココア社

3月18日から3月末までの生活必需の食料品以外の製造工場の停止が政府より発表されたため、現在工場の稼働を停止している。しかしながら、同社としては、カカオ、チョコレートは生活必需品そのものではないものの、必需品の一部の原材料を同社が製造しているため、早期の再稼働の申請を関係省庁に提出しているとの事。この申請が受理されれば再稼働の可能性があるが、現在のところは一時停止した。

⑤ シンガポール

a) オーラム社

現在、製造及び輸出活動共に稼働している。

⑥ インドネシア

a) ガンチョンココア社 バタム工場

インドネシア工場については、製造、輸出ともに稼働している。

*弊社取引先からの情報をベースにしており、国全体の情報把握としては正確性に欠けますので、ご参考程度にご参照いただければ幸いです。

2、【新型コロナ最新情報】世界で感染者 30 万人突破、生産休止や移動制限強まる(3/22)

- シンガポール、短期訪問者の入国と乗り継ぎでの経路を禁止
- インドが旅客列車の月内運行休止、ベトナムも入国制限

世界全体の新型コロナウイルス感染症例は 30 万 7000 件を突破、死者数は 1 万 3000 人を超えた。インドは国内の列車運行を一時休止、シンガポールは入国禁止措置をそれぞれ 22 日発表するなど、人の移動を制限する動きが強まっている。

イタリアでは、死者が 1 日としては過去最悪の 793 人増えて計 4825 人に達した。感染者数は 5 万 3578 人に達し、同国は向こう 15 日間、ほぼすべての工業生産を休止する。コンテ首相は 22 日遅くの会見で、スーパーマーケットや薬局のほか、銀行や郵便局は営業を続けると説明した。また、北部のロンバルディア州でジョギングが禁止となるなど、当局は新型コロナ封じ込め対策を強化した。

米国の感染者は 2 万 6000 人を上回った。英国での死者数は 177 人から 233 人に、フランスでは 450 人から 562 人にそれぞれ増加。米ニューヨーク州のクオモ知事によれば、同州の感染者数は 1 日で 3000 人余り増え 1 万 356 人となった。

日本国内での感染者はチャーター機で帰国した人を含めて 1060 人、クルーズ船の乗員・乗客を合わせれば 1772 人となった。NHKが各地の自治体や厚生労働省の情報を基に 22 日午前 11 時半時点で集計。同日は大阪府で新たに 1 人の死亡が発表されたほか、広島県と神奈川県、大分県で合わせて 6 人の感染確認が発表されたという。

新型コロナの発源地とされる中国の湖北省では、4 日連続で新たな感染が確認されなかった。国家衛生健康委員会が発表した。中国全体での新たな感染症例は 46 件で、うち 45 件は国外からの流入症例。死者は 6 人増えた。韓国では新たに 98 人の感染症例が確認され、計 8897 件。死者は 2 人増えて 104 人。ウガンダでも初の感染者が確認された。

シンガポールは国外からの流入症例が増えるリスクを減らすため、短期での入国や乗り継ぎでの同国経由を禁止すると発表した。ウォン国家開発相は労働許可証の保有者が入国する場合は、ヘルスケアや輸送など必要不可欠なセクターに限るとも説明し、シンガポールでの居住・就労を認めるビザ・許可証の持ち主が同国を離れば、すぐには戻れないリスクがあるとも述べた。

インドは今月末まで旅客列車の運行を停止すると発表。また、ベトナムも外交や公的目的以外で同国を訪れる全ての外国人の入国を一時的にストップすると明らかにした。専門家やビジネス幹部、高度な技術を持つ労働者は条件付きで入国を認める。

米国ではトランプ大統領が新型コロナ感染拡大を受けた景気対策について、議会と政権の交渉担当者の合意は「非常に近い」と述べた。ホワイトハウスのクドロー米国家経済会議（NEC）委員長は、同対策で約2兆ドル（約222兆円）規模の経済押し上げ効果を狙うとしている。また、新型コロナの検査を受けたペンズ米副大統領は陰性反応だった

新型コロナ対策の景気刺激措置はオーストラリアが第2弾を実施。規模は660億豪ドル（約4兆2350億円）で、小規模事業者向け最大10万豪ドルの現金支払いなどを含む。

英国でも警戒が強まっている。ジョンソン首相は基礎疾患を持つ国民に少なくとも3カ月間の自主的な隔離措置を講じるよう促し、国民全体の協力が必要だと強調。「感染者数は加速している。たった数週、2-3週間で、イタリアのようになる状況だ」と述べた。同国ではパブやバーなどが休業となった。

3、ガーナカカオ豆着荷状況 《2月14日現在の集荷は昨年をやや上回るレベルに増加》(3/19)

政府のカカオ監督機関であるココボードによると、10月1日の新シーズン開始後から2月13日までのカカオ集荷数量は667,754トンとなった。昨年同時期までの集荷数量は664,019トンであった為、昨年をやや上回る数量での集荷が進んでいる。

4、ICE Futures Europe カカオの5月限月先物に対する受け渡し数量制限の引き下げ(3/19)

コロナウイルスの発生による混乱の可能性があるため、ICE Futures Europe は、5月の有効期限に有効なカカオ豆の先物契約に対する受け渡し制限を通常よりも引き下げます。

- 制限は7,500ロットから1,000ロットに引き下げられると声明で述べている
- 今回の引き下げ措置は、7月以降の限月には自動的に適用されることはなく、まず取引所は秩序ある通常の市場のルール維持するために必要な措置を講じて行きます。

5、ナイジェリアの2月のカカオ関連製品の輸出は前年比83%増加(3/17)

ナイジェリアの主要港湾都市であるラゴスの港湾検査および海運会社のエージェントがまとめたデータによると、カカオ関連商品（カカオ豆、加工品）の2月度の輸出数量は、前年に出荷された13,143トンから24,086トンに増加。ナイジェリアは現在、世界のココア生産者の中で国際ココア協会によって5位にランクされる。

- ナイジェリアのココア輸出業者協会の会長であるピウス・アヨデレによると、昨年はトレーダー倉庫に保管されていた在庫を持っていたが、19年2月の国際相場が低かった為、20年の2月には通常の輸出が行われたただけだが、前年比でかなり出荷が増加する結果となった。
- 月間出荷量は、前月1月に輸出された29,829トンから19%減少しました。
- ヨーロッパは、2月に輸出された数量の19,210トン、全体の約80%を占めた。オランダは13,629トン、ドイツは3,363トン、ベルギーは1,968トン、エストニアは249トン。
- 残りはインドネシア、マレーシア、シンガポール、ガーナ、カナダが仕向け地。

- ナイジェリア産のココアバターの輸出は、前年の1,407トンから68%減少して449トンになりました。目的地にはドイツ、エストニア、オランダ、スペインが含まれる。

6、コートジボワール豆着荷状況《昨年を上回るペースでの集荷が継続》

コートジボワールの3/9-15の週間でのカカオ集荷数量は29,744トンであった。昨年の同時期の1週では39,749トンの集荷数量であった。また、シーズンが10月1日に始まってからの総到着数は175万トンとなっており、前年同時期の約156万トンをかなり上回る数量となっています。

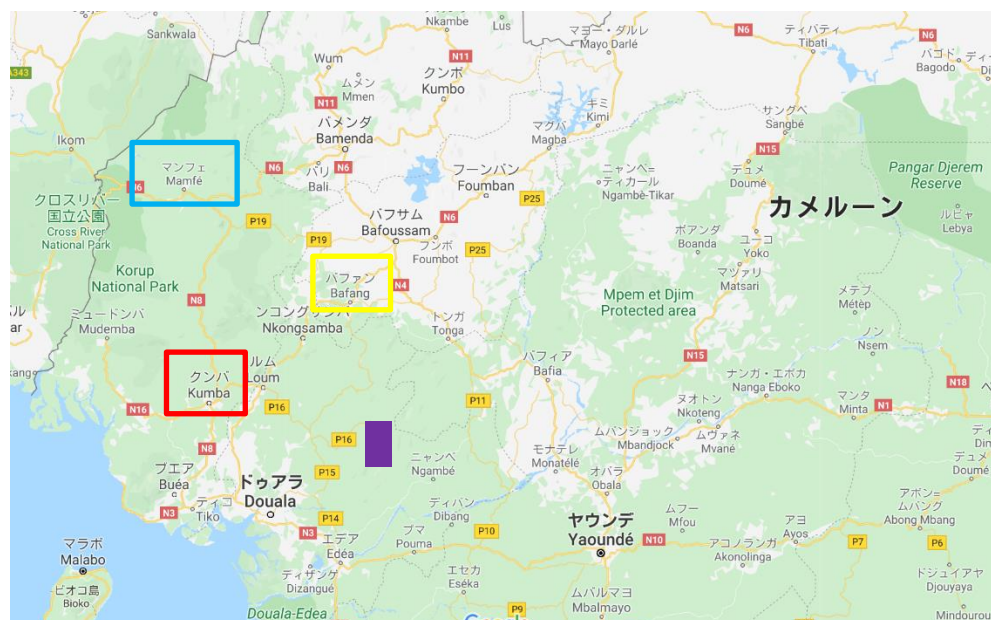
*下記はコートジボワール産カカオの買い付けのトップ5企業と3月15日までの買い付け数量。コートジボワールでは国際的な需要者は国内に買い付けの為に会社を設立しており、生産者から政府の規定価格での買い付けを行う仕組みになっています。

会社名	購入数量(トン)
アウトスパン(オーラムのグループ)	247,226
カーギル	230,499
Saco(バリーカレボーグループ)	195,759
Sucden(フランスの商社)	110,378
Tuton(フランスの商社)	102,344
その他の企業	819,785
合計	1,705,990

7、カメルーンカカオの週平均の農家販売価格が1.4%下落(3/18)

カメルーン全国ココアおよびコーヒー生産者協会の数字によると、3月17日までの週の全国平均ココア農産物価格は、前週の1,004 (USD1.726/kg) から990CFAフラン (USD1.702/ kg) に低下しました。フラン/kg単位の各地域の地域の農家販売価格は下記の通り。(単位：CFAフラン/KG) *通貨換算レート1CFAフラン=0.001721USD

- 南西地域 Kumba クンバ (下記地図内、赤枠) : 1,010CFA/kg
- 南西地域 Manfe マンフェ (下記地図内、青枠) : 980CFA/kg
- リトラル州 Littoral (下記地図内、紫■) : 1,000CFA/kg
- センター地域 Bafang バファン (下記地図内、黄枠) : 1,000CFA/kg



8、カメルーンの週平均ココア輸出価格は5.6%下落 (3/16)

カメルーン全国ココアおよびコーヒー生産者協会の価格によると、ドゥアラの港での3月16日までの週の輸出者平均の輸出価格=FOB 価格（コンテナ船コンテナ積み込み時価格）の平均は1,271 CFAフラン/ kg（≒USD2.186/kg）に、前週の1,346フラン/ kg（USD2.315/kg）から低下。

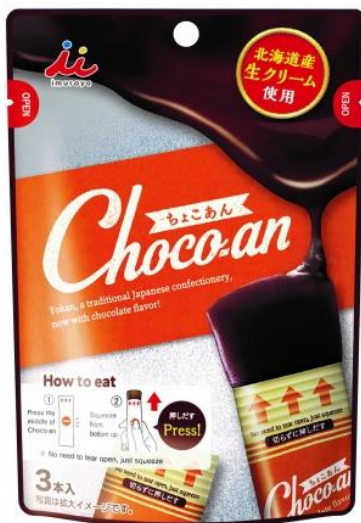
9、3月限月のロンドン市場ココアの実物デリバリーは6,130トン (3/18)

ICE Futures Europe のデータによると、3月17日で先物市場での取引が終了した3月限月の引き渡しに合意したカカオのほとんどの約5,000 トンがカメルーン産であり、残りの1,000 トンがナイジェリア産となり、合計数量で6,130 トンとなった。

10、今週の気になる商品！？

最近では、運動の最中や後に効率的にエネルギーを補給する食品としても注目されている“羊羹”和菓子のイメージの強い井村屋株式会社がようかん×チョコレートの新しいお菓子を開発・発売とのこと。チョコレート業界以外の企業からもカカオやチョコレートが素材として注目されて需要が伸びたり、和洋折衷で企業同士のコラボ商品などが増えると楽しいですね。この商品は、観光や、山登りなどにとってもあいそうですし、外人の方に羊羹をたべてもらうために、なじみのあるチョコと合わせたそうです。

ようかん×チョコの和洋折衷の新しいスイーツ Choco-an プレーン、Choco-an 抹茶



【商品概要】

商品名 Choco-an プレーン Choco-an 抹茶

希望小売価格 170 円（税抜）

内容量 42g（14g×3本）

* 配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp